

夏空にアジサイ

27日、京王井の頭線の高井戸駅と浜田山駅の間の線路敷のアジサイが早くも開花し、通行人などを驚かせています。今年の5月は、歴史的な暖かさとなっていて、その影響なのか例年より10日以上早い開花となっています。

日本気象協会によると、今年5月の最高気温の平均は、この140年間の観測の中で最も高くなることを見込まれていて、記録的・歴史的な暖かさとなっています。今日27日も夏のような青空に、温度計は30℃以上を超え、真夏日となっています。こうした暖かさが影響したのか、例年は梅雨の代名詞となっているアジサイが開花し、近隣の住民を驚かせています。

アジサイは、京王井の頭線の高井戸駅と浜田山駅の中間の100mほどに渡って線路脇に植えられていて、青やピンク、赤紫色などの可憐な花が咲いています。この場所のすぐ南側には、区立高井戸図書館や高井戸中学校があります。高井戸中学校には、アンネの日記で有名なアンネ・フランクゆかりの「アンネのぼら」が140株ほど育てられています。現在



も可憐な花を咲かせています。アジサイは、例年6月に入り、この「アンネのバラ」からバトンを受け取るように、開花し始めることが普通でしたが、今年は10日以上早く花が咲き始めています。

アジサイの花が咲き始める6月上旬は、梅雨入りの時期にあたり、アジサイの花は梅雨の代名詞ともなっています。雨に濡れながらもイキイキと咲くアジサイに雨傘の写真などは、だれもが一度は目にしたことがあるでしょう。しかし、今年は雨傘に代わって、日傘を差してのアジサイ見物です。それでも、アジサイの花は1カ月ほど楽しめますので、これから梅雨の中の見慣れた姿も見ることもできるでしょう。

[報道機関 問い合わせ先]

総務部広報課： TEL 03-3312-2111 (代表)